

幼 児 の 教 育

昭 和 九 年 十 月

自 ら を

子どもを教育するのは教育者の責任である。しかも之れは、教育者としての一面の責任に過ぎない。此の、外へ向つての責任と共に内へ向つての責任がある。自分を教育するこゝである。但し、此の責任は何びこにもあるこゝに相違ないが、外へ向つて教育を行ふ者に於て、特に強く感ぜられる責任である。一般の仕事は、外に向つてのみ行はれるのでも濟む。教育といふ仕事に於ては、そこが全く違ふのである。内へ向つての教育なくして、外へ向つての教育はあり得ないこゝである。

すべての教育は自己の教育に發するこゝについては言葉が過ぎるかも知れない。しかし、少くも教育の眞の迫力は、此の謙遜なる自己教育の心からのみ出る。